



Try! up!

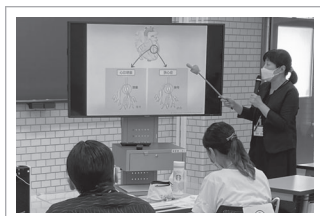
Vol. 52 [2023年10月20日発行]

「ここに来たら きっと変わる もっと分かる」

第1回オープンキャンパス開催!



令和5年9月9日(土)に第1回オープンキャンパスを開催しました。台風13号の影響が心配されましたが、大きな交通機関の乱れもなく、遠くは青森県から計10名にご参加いただきました。今回は、模擬授業に加え数年ぶりにフィジカルアセスメント体験を入れたプログラムで実施したのでご紹介したいと思います。



模擬授業では、「心筋梗塞の治療と看護」と題して成人看護学の講義を体験。心臓の位置や大きさ、心臓の機能(血液の流れ)、狭心症と心筋梗塞の相違点、心筋梗塞の治療法や合併症の学習を踏まえ、看護の視点(急性期～回復期)を学習しました。最後に教員から国家試験過去問を紹介すると、皆さん「あてられるのでは」と緊張がはしりましたが、「安心してね。あてないから」との先生の声にホッとした様子でした。皆さん正解でしたよ!



フィジカルアセスメント体験では、「呼吸音の異常」についてモデル人形を用いた演習を体験。まず聴診器の使い方を確認し、呼吸音の異常にはどのような種類・特徴があるのかななどの説明を受けたあと、いよいよ「呼吸音聴取」です。代表的な「いびき様音」「笛音」「捻髪音」を一人ひとり確認しました。最初は恐る恐るモデル人形に聴診器を当てていましたが、「こんなに聞こえるんですね」「音の違いがわかった」など楽しそうに体験していました。

その後の個別相談では、「やっと入学できる準備が整いました」という方や「まだ迷っています」という方もいらっしゃいました。今回のオープンキャンパスが、看護師をめざす道を具体的に考えるきっかけになることを願っています。

次回のオープンキャンパスは12月3日(日)に開催します。また、引き続き各地での「学校説明会」も開催予定です。在校生や卒業生からの紹介制度もありますので、関心のある方はぜひご参加ください。

『からだと病のしくみ』対面授業を実施しました

『からだと病のしくみ』は、看護師国家試験を突破するために必要とされる解剖生理学の基礎的な知識を修得するために、今年度から設けられた科目です。これまで本校では、放送大学の『人体の構造と機能』という科目を履修単位としてきたのですが、毎年解剖生理学を苦手とする学生が非常に多く、模擬試験だけでなく本番でも解剖生理学の点数が振るわないことが大きな課題となっていました。そこで、看護の視点からからだと病のしくみについて理解して欲しいとの思いで、1年生を対象に9月21～22日、9月26～27日に面接授業が実施されました。

テキストに沿って「動く」「食べる」「息をする」などの8つの単元を8人の教員が担当し、各々が工夫を凝らした授業を行いました。解剖生理学というと一般的に運動器系、消化器系、呼吸器系のように器官系統別に学習しますが、本校では人間がどのようなからだのしくみを使って生き、日常生活行動を営んでいるのかを理解することを目標に構成しました。

授業後にワークブックを提出することになっていたため、事前に学習していた学生も多かったようです。そのため全員が真剣な面持ちで授業を受けていた様子が見受けられました。何人かの学生からは「准看護学校でも解剖生理は習っているはずだが、ほとんど忘れていた」「直接講義を受けることで改めて理解できていなかったことが知れて良かった」「今回の授業だけでは理解不足なので、国家試験に向けて自己学習に励みたい」といった感想が聞かれました。

今回の講義を受けて、人間のからだについてより一層の関心を持ち、今後の学習に取り組むきっかけとなることを期待します!





小野寺 敏江 先生
教務主任

教員から学生の皆さんへ…

TEACHER'S VOICE

今回は、私が入職した頃からの学校のことを紹介したいと思います。

2011(平成23)年、当時JR東北福祉大前駅の目の前にあったステーションキャンパス7階の教室は、東日本大震災の影響による復旧工事が行われ、5月から始業となりました。

2012(平成24)年には、既卒生対象の国家試験対策のための履修登録制度が始まりました。翌年2013(平成25)年の国家試験当日は大雪が降り、開始時間の繰り下げや追試験が実施されました。そして、2015(平成27)年には現在の仙台駅東口キャンパスへ移転。卒業生も参加できる研修会を始めました。2016(平成28)年、学生への一斉メールの配信、盛岡市等での遠隔地授業やオープンキャンパスを始めました。翌年から担当教員が地域へ出向いて学習相談会を開催。2017(平成30)年には、通信制への入学要件が「7年以上の就業経験」に短縮され、面接授業日数が10日増加しました。

令和となり、学内講座やWeb学習等国試対策を充実させてきました。また、青森市での面接授業を始めましたが、2020(令和2)年の新型コロナウイルス感染症の流行拡大により、オンデマンド授業やオンライン授業となり、病院等見学実習も自宅での代替実習となりました。2022(令和4)年より、徐々に登校や見学実習が可能となり、2023(令和5)年、新カリキュラムの開始と同時に通常授業に戻ることができています。

これまでの卒業生は、2,265名になり、全国で活躍しています。東日本大震災では、高齢の利用者を助けようと、その方の自宅へ戻り津波で亡くなった卒業生がいます。国家試験の合格を知ることでも看護師免許証を手取ることもできませんでした。変わり続ける環境の中で、学ぶ主体は学生の皆さんであることは変わりません。学生の今だからこそ「看護」に向き合い、対象者に必要とされる看護師になってほしいと、十数年を振り返りながら願っています。

自習室だより

新刊図書のご紹介

学校の図書を「見た」ことがありますか？

3階『自習室1』には書棚があり、学生の皆さんが参考にできる図書を揃えています。貸し出しはできませんが、学校に来た際ぜひ立ち寄って見てください。半年に一度、新刊図書も入ります。

その中でも今回は、難しい内容をわかりやすく漫画にした《清水茜著『はたらく細胞』講談社2015》をご紹介します。清水茜さんの『はたらく細胞』シリーズは、ブラックとホワイト、ベビー、レディーとあり

ます。今後も増やす予定ですので、勉強に疲れた時などにぜひ一読してみてください。

ブラックは動画もあります。場所は入口から入って右の、最初の書棚の上から2段目です。最初は、肺炎球菌と白血球の壮絶な戦いです。肺炎球菌が、最後はくしゃみロケットで一掃される展開をどうぞ。



学生通信



『人との関わりを大切に』

1年生 奈良 英俊 さん
(青森県・30代・訪問看護ステーション勤務)

私は中学生当時、手に職をつけたいという想いから、介護の道へ進もうと考えていました。しかし、担任の先生から「看護の資格が取れる高校があるから考えてみないか」と勧められたことがきっかけで看護の道へ。

現在は、訪問看護ステーションに勤めており、1人で患者さんの自宅へ訪問することも少なくありません。もともとコミュニケーションが得意ではなかったのですが、訪問回数を重ねるうちに患者さんやご家族との関わりの大切さを実感するように。また、職場の同僚は看護師資格を持つ方が多く、現場での判断や言葉がけなど、人との関わり方の違いも感じていました。「もっと知識と自信をつけて患者さんと

向き合いたい」と考えるようになったとき、仕事を続けながら学べる本校のシステムを知り、進学を決めました。

はじめは、放送大学の学習の時間配分がうまくいかず、自宅での学習時間をどう確保したらよいのか悩んだことも。しかし、学習時間が確保できるようにと協力してくれる子どもと妻の理解と支えがあり、乗り越えられています。入学して半年が過ぎた今は、これまで経験してこなかった領域の学びも新鮮で、進学してよかったと感じています。特にフィジカルアセスメント演習では、実際に目で見たり、手で触れたり、音を聞いたりしながらの学びは大きかったです。机上での学びだけでは理解しきれていなかった部分も理解を深めることができました。

日々の学びを支えてくれている家族のためにも、今後も一歩ずつ丁寧に学び、自分の言葉でしっかり伝えられる知識と自信を積み重ねていきたいと思います。そして、患者さんが納得し、安心して生活ができるような関係性を築ける看護師になりたいと考えています。

実習先のホンキ

22

公益社団法人 宮城県看護協会
柴田・角田地域訪問看護ステーション

2年間の学びの中でも重要な位置を占める「病院等見学実習」。限られた時間の中で、どれだけ多くのことを吸収できるか、そして日々の学習にどう結びつけていくかが問われる教育内容である。ここでは、学生に充実した学びを与えてくださった「柴田・角田地域訪問看護ステーション」の実習受け入れに対する体制や考え方を紹介したい。

コロナ禍、急激な在宅医療のニーズの高まりや感染予防策の徹底など、その影響を大きく受けた柴田・角田地域訪問看護ステーション。未曾有のパンデミックを乗り越え5類へ移行した「いま」の、実習受け入れに対する環境や考え方を渋谷幸江所長に伺った。

「将来の在宅医療を担う人材育成に積極的にかかわることが、私たち宮城県看護協会の訪問看護ステーションの役割の一つですから、ほぼ一年中、さまざまな学校の実習を受け入れています。その中でも東北福祉看護学校の皆さんは、すでに看護の現場経験があるので、実習に取り組む姿勢や質問内容などとても意欲的です」と渋谷所長は、准看護師としての経験が新しい学びへの後押しになっていると語る。

また、本校の学生たちはステーションに勤務する職員と年齢も近いことから、その年代だからこそ感じられる「いずれ自分たちの家族も…」という『在宅医療』を身近にイメージできる親和性の高さも感じているとのこと。

「実習生の皆さんには、いいところも悪いところも隠さずいつもと同じ『在宅ならでは』のかかわりを見てもらっています。私たちが各家庭に合わせて、利用者はもちろんその家族にとっても安心できる時間を提供しているということや、利用者の『自宅にいたい』という気持ちの真意を分かっている。そして、人に寄り添う訪問看護だからこそその醍醐味を感じ取ってほしいですね」と、1時間という限られた、しかしながら濃密なサービス提供を通して、訪問看護の意味や役割の理解を大切にしていることが分かる。

最後に看護師国家試験を控えている本校の学生に向けて、「せっかく国家試験合格を目指し看護師になるのだから、自分のしたい看護ができるようになってほしいですね。そのためには、これまでの経験にプラスしてアセスメント力を高めていってください。そうしたら、堂々とやりがいのある看護ができるはずですよ」と、自信をもって看護を実践できるヒントをいただいた。



渋谷 幸江 所長



心に寄り添い 判断できる看護師に

2年生 伊藤 真理子 さん
(宮城県・40代・クリニック勤務)

私はこれまで訪問看護に関わったことがなく、今回患者さんのご自宅に伺っての看護を見学できたことは、とても貴重な経験となりました。快く実習を受け入れていただいた職員の皆様、患者さんとご家族の皆様に本当に感謝しています。

今回の実習で一番印象に残ったのは、患者さんやそのご家族のいきいきとした姿です。看護が必要な状態であっても自宅で過ごすことは、その方らしい生活や安心感につながるのだと実感しました。また、職員の皆さんが患者さんはもちろん、ご家族とも積極的にコミュニケーションをとられていたことも、安心感につながっているように思います。会話の内容は看護に関わることで外も多く、何でも気軽に話ができるような関わりの大切さを学ぶことができました。

また、訪問前のカンファレンスだけでなく、現場ではタブレットを使用して画像で情報を共有するなど、職員同士の情報共有の場面も想像以上に多くとられていたように思います。見学前には、「一人で訪問・判断して看護を行うことに不安がないのだろうか」という想いがありましたが、言葉だけでなく画像も使用しながら密に情報共有が行われていたことに驚きました。

実習を終えて、患者さんの心に寄り添う事について、これまでの自分を振り返るきっかけをいただいた気がします。柴田・角田地域訪問看護ステーションで学んだ心と心のつながりを感じられる看護を大切に、自信をもって判断ができる看護師を目指し、学びを深めていきたいと思っています。

公益社団法人 宮城県看護協会
柴田・角田地域訪問看護ステーション

宮城県柴田郡柴田町
船岡中央 2 丁目 7-19



仙南地域広域(1市5町)に24時間(365日対応)緊急訪問体制を整えて対応している。

利用者の健康管理、日々の生活上の看護から在宅看取りの看護まで幅広く実践し、自宅で自分らしく過ごせるために利用者・家族に寄り添うことを心がけている。

1 年生

【学籍番号が“23”で始まる学生】

教育課程

1. 地域・在宅看護論方法Ⅱ（対面授業）

日程

1 回目 10月30日(月)
2 回目 11月1日(水)

2. 通信授業（成人Ⅰ・Ⅱ、老年、小児、母性）（配信授業）

日程 令和6年1月10日(水)～2月1日(木)

臨地実習

1. 精神看護学実習Ⅱ（見学実習）

日程 11月16日(木)～12月22日(金)

国家試験対策講座

1. 第1回 メディックメディア模試

日程 12月17日(日) 9:50～16:30

2 年生

【学籍番号が“23”以外で始まる学生】

臨地実習

1. 見学実習後面接授業（対面授業）

日程 9月26日(火)～11月まで

国家試験対策講座

1. 第2回 なすもし

日程 11月25日(土) 9:50～16:30

2. Dr駒井のテコム出張講座

日程 11月26日(日) 10:00～16:00

3. 学内講座

日程 12月8日(金)・9日(土) 10:00～16:00

4. 東アカ模試3

日程 12月10日(日) 9:50～16:30

5. Dr駒井のテコム出張講座

日程 令和6年1月14日(日) 10:00～16:00

6. 第3回なすもし

日程 令和6年1月15日(月) 9:50～16:30

● 第113回 看護師国家試験の日程が決まりました

試験期日

令和6年
2月11日(日)

合格発表

令和6年
3月22日(金)
午後2時

※手続き等については、別途学校からお知らせします。

● 『学校説明会・オープンキャンパス』開催のご案内

本校への入学をお考えの皆さまを対象とした『学校説明会・オープンキャンパス』を開催しています。

開催日程

🕒 14:00～16:00 ※オープンキャンパスのみ 13:00～16:00

開催地域	開催日	会場
八戸市	10/29(日)	ユートリー
仙台市	11/5(日)	東北福祉看護学校
弘前市	11/12(日)	放送大学弘前学習センター(弘前大学内)
盛岡市	11/19(日)	放送大学岩手学習センター(岩手大学内)
仙台市	12/3(日) ★	東北福祉看護学校
山形市	12/10(日)	放送大学山形学習センター(霞城セントラル10階)
いわき市	12/17(日)	放送大学いわきサテライトスペース (いわき市社会福祉センター4階)
仙台市	R6 1/24(水)	東北福祉看護学校
青森市	R6 1/28(日)	青森市文化観光交流施設 ねぶたの家ワ・ラッセ
秋田市	R6 2/4(日)	放送大学秋田学習センター(秋田大学内)
仙台市	R6 2/17(土)	東北福祉看護学校

※★のついている日程では、『オープンキャンパス』を開催します。

※事前予約制です。(開催日の前日までお申し込みください)

※今後の状況によりスケジュールが変更になる場合がございます。
ご了承ください。

● 出願希望者の紹介制度について

9月1日(金)から、次年度入学生の「入学願書」受付が始まりました。

本校の卒業生又は在校生の紹介により入学された方には、特典(テキスト代の一部減免)があります。同僚やご友人で出願を希望される方がいらっしゃったらぜひご紹介ください。

出願書類に「紹介シート」の同封が必要なため、卒業生・在校生の皆さまは「紹介シート」に必要事項を記入の上、早めに出願者にお渡しください。

